



令和6年7月25日

担当課	青少年課
担当者	鷺山
電話	073-435-1235
内線	3421

懸案の夏休み期間中の学童保育待機児童「ゼロ」を達成 ～タイムシェア教室の活用～

令和6年度から、小学校の授業が全て終了する放課後に図書室等の特別教室を学校と若竹学級が「タイムシェア（一時利用）」することにより、利用希望者の受け入れを拡充し、4月以降継続して「待機児童ゼロ」を実現してきました。

例年待機児童数が最も多くなる8月においても、利用希望者全員が入級できるようになり待機児童ゼロを達成できています。

【各年の夏休み期間中の利用希望・利用決定・待機児童の推移】

	夏休み期間中		
	利用希望	利用決定	待機児童
R4	3,780	3,605	175
R5	3,927	3,702	225
R6	4,012	4,012	0



「タイムシェア教室の状況」

若竹学級の利用希望者は令和6年8月において4,012人と、前年同月と比較して84人増加していますが、特別教室等を放課後に若竹学級と学校で相互利用することで若竹学級の受け入れ態勢の拡充を図り待機児童の解消を図りました。

タイムシェア実施校14校（15教室）

「若竹学級」とは

保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、放課後に小学校の余裕教室等を利用して適切な遊び及び生活の場を設け、子どもの状況や発達段階を踏まえながら、その健全育成を図る事業です。住宅開発が進んでいる地域の学校や保護者の共働きの増加等の要因により、若竹学級の申請者数が偏在し、地域によっては多くの待機児童が出るという課題がありました。

<夏休み期間中：午前8時～午後6時30分まで>